



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hoyukai.org/>

第209号

発行:2023年9月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会

医療秘書課新設

新中川病院 医療秘書課 課長 長崎 小百合



令和5年4月1日より医療秘書課の課長を拝命致しました長崎小百合と申します。平成10年に当院へクランクとして入職し、湘南泉病院への異動を経て18年ぶりに戻って参りました。湘南泉病院在職中は衛材の発注・払出・在庫管理、勤怠管理、オンライン面会対応等を担当して参りました。また、平成18年に発足した接遇委員会に当初から所属させて頂き、マナーチェックやマニュアルの作成等、発信する側に立たせて頂いた経験は自主性を持つ契機となりました。平成24年には診療報酬改定により医師事務作業補助者が配置されました。32時間の研修を終え実務に当たった所、医師により書類の書き方が異なる等、研修よりも学ぶ事は多くありました。これらの経験を活かし、医療秘書課の目的である「医師、看護師の事務作業の負担を軽減し医療看護に専念出来る環境作りに貢献する」を達成する事が私の役割です。それに当たりまずは看護師長の現行業務の中から秘書課に移譲したい業務をリスト化して頂いた所、患者様プロフィールの入力、ご家族様への書類郵送等があり、実行に移しました。

また医師の代行業務として、当院は施設基準上医師事務作業補助者の設置は行っておりませんが

同業務が質の高い医療に有益である事に代わり無いと考え、現在一部の退院サマリーと医療要否意見書の代行作成を行っております。ですが、まだまだ少量である為、拡大の課題は残されております。また日経メディカルによる「医師から他職種へのタスクシフト」に関するアンケートによると業務負担を軽減する上で、どの職種へのタスクシフトが最も効果的だと考えるかの問いに51%の医師がクランクと回答している事を踏まえれば他にも移譲可能な業務が更にあると考えられます。課題はまだ残されており、それに優先順位を定め今年度中にクリアする事を目標としております。

また、5月より再開されました対面面会も当課が担当させて頂いております。コロナも5類になったとは言え、依然脅威である事に代わりありません。世間ではノーマスクの光景がすっかりなじんでもいますが、むしろそのギャップが問題を複雑化している側面もあるかと思えます。気を緩めずしっかりとした対策を行った上で、気持ちの良い面会が出来るよう心がけて参ります。

医療秘書課の新設は大変やりがいがあり、同時に責任も理解しております。病院に貢献出来るよう、これからも精進して参ります。

地域と共に、未来へ ゆめが丘総合病院通信

【完成図】

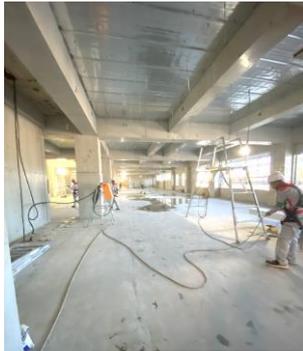


令和6年4月 NEW OPEN
 湘南泉病院が移転し
 ゆめが丘総合病院（仮）に生まれ変わります

ゆめが丘総合病院建設工事は、今夏の酷暑の影響により多少工期に遅れを生じましたが、おおむね順調に進んでいます。9月5日の時点で、全体の51%の進捗です。建物本体の工事は5階部分へと届き、建屋の上棟まであと一息となりました。今までは上へ上へと進んでいた工事も、8月からは水平方向へと広がりを見せています。病院棟1階部分では空調設備と付随する冷触媒配管、換気ダストや間仕切り壁などの内装工事が始まり、一部は部屋の輪郭が分かるようになってきました。これから断熱材の取付け、そのほかの配線・配管工事など順次進んでいく予定です。



【正面入口／風除室】



【2階】



【CT室】



【病院西側側面と健診棟】



【外科系外来】



【初療室】



【MRI室】



【栄養部門付近】

